



大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■クラブ創立：2000年1月13日
 ■例会日：水曜日（12：30～13：30）
 ■例会場：中部コミュニティセンター
 TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
 ■事務所：〒299-3251
 大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階
 TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
 ■会長：大越 将司 幹事：星野 実
 ■広報・公共イメージ向上委員会
 委員長 小倉 光男・会報担当 石田 英世

2023年10月4日(水)
第25巻 第13号

通巻第1043号

http://www.oamirotary.com
E-mail: rc@oamirotary.com



世界に希望を生み出そう

本日の例会

点鐘 会長 大越 将司
 唱和 四つのテスト
 ソング 奉仕の理想
 会長挨拶 会長 大越 将司
 幹事報告 幹事 星野 実
 プログラム

1. 10月誕生祝い

板倉達夫会員・斉藤敏夫会員
 清宮満巖会員・関谷清一会員
 矢部慎一会員

2. 皆出席表彰

石田英世会員 (20年)
 関谷清一会員 (10年)
 小高 徹会員 (3年)

3. 卓話 吉原久男会員ご紹介

海生 裕明 様

「インボイス制度のお話」

ニコニコBOX

無し

例会日	9月27日	9月13日
会員数	30	30
出席	18	16
欠席	12	14
M U	0	0
免除	7	8
出席率	83.33%	80.00%

会長エレクト挨拶

会長所用の為、石田英世会長エレクト挨拶



皆さん こんにちは。

本日は大越会長がお休みで、代わりに挨拶します。

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますように、先週末から一気に秋めいてきて過ごし易くなりました。が、ここ一兩日は暑さがぶり返してきました。

一日の寒暖差も9度前後と真夏よりも大きくなり、寒暖差疲労で体には大きな負担になっているのではないかと思います。

いつも元気な人がにわかに体調を崩すことを「鬼の霍乱」と言いますが、この「霍乱」とは、暑気あたりによるさまざまな症状を指しているようで、一言で言ってしまうと「熱中症」です。

近年は霍乱が深刻化しているようで、熱中症による死者は昨年までの5年間の平均で約1300人。30年前までは100人に満たない年が多かったので、近年の異常気象が大きく影響しているのではないかと思います。

来週からは10月。秋本番となり、ロータリー活動もいろいろと活発になります。しかし、当分は暑さ・寒さのジグザク陽気が続くと思います。体調管理をしっかりして元気に過ごしていきましょう。

奉仕プロジェクトセミナー報告 高山 義則 会員



[鶴沢ガバナーの挨拶]

◎各クラブで行う奉仕プロジェクトについて

- ・クラブで立案する。
- ・活動計画書に記載されている事は必ず行うこと。
- ・次年度に繋ぐこと。
- ・出来なかった事は何故出来なかったか精査すること。

[寒郡ガバナーエレクトの挨拶]

◎2790地区で地区補助金を利用しているクラブは82クラブ中40クラブです。もっと地区補助金を利用してほしい。

[時田ガバナーノミニの挨拶]

- ・本日のセミナーで何か気付きを持ってほしい。
- ・持続可能な事業を行ってほしい。
- ・ベトナムのRCは現在4クラブあります。今後発展していくでしょう。

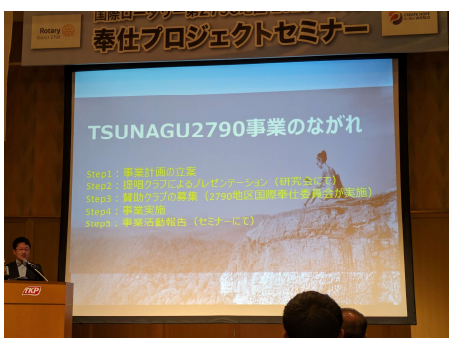
清宮建治会員より



皆様には大変ご心配をおかけしました。20 時間に及ぶ手術から、4 か月ぶりに例会に出席でき、皆さんとまたこうして会える事を嬉しく思っています。これからも皆さんと一緒にロータリー活動頑張りますので宜しくお願い致します。

9/24(日)開催 奉仕プロジェクトセミナー

於 TKP ガーデンシティ千葉
出席者：高山義則会員



[水野奉仕プロジェクト総括委員長]

- ・ロータリーの特別月間をヒントに行事を立ててほしい。
- ・ロータリーの優先事項はより大きなインパクトを与える。
- ・補助金を使ったプロジェクトの推進。
WF 500 (DDF 奨学金等 250)
DDF 500 (地区補助金 250)
- ・四つの優先事項 点数化して見える化を図る。

[鈴木職業奉仕委員長]

- ・職業スキルを活かしてエンゲージメントを育みましょう。
- ・VTT (バケーション ターニング チーム) とは職業研修チームで例えば内外の整体師が発展途上国の盲人等にマッサージ等を指導し技術を身に付けてもらう。例えばモンゴルの盲目の生徒は卒業後働く場所が無い為日本のマッサージ協会が手助けしている。
- ・会員の中で協力をお願いできればありがたいです。
- ・また、国立第2病院は浄水器がありません。国立第3病院の院長は元米山奨学生です。モンゴルには米山学友会がありモンゴルに貢献しております。
- ・また、ベトナムでは来年学友会が発足予定です。
- ・職業奉仕については職業スキルを活かしエンゲージメントを育みましょう。自分の職業を通しての奉仕活動をお願いします。

[中村社会奉仕委員長]

- ◎第6グループでは地元市と災害支援に関する覚書を締結している。
- ・締結をした良い点は
- ①地域との連携が取れている。②委員会活動が盛んになった
- ③クラブ内研修が盛んな程意欲が高い。
- 例えば植樹、維持管理等で共同活動した高校生との絆が深まった。
- ・悪かった点は①予算不足 ②会員不足 ③地域が必要としているか。
- ④行政との連絡が難しい
- ◎少子化対策として婚活パーティーを開催した。また、子どもの未来支援を行った。
- ◎アートフレンズ、パラスポーツの開催、駅前イルミネーション
- ◎国際奉仕としてコロナ前フィリピン国ダバオ市で環境整備を行った。コロナ中は小中学校に通訳機器を支援。
- ◎青少年奉仕活動として①スポーツ教室 ②子供祭り ③さつま芋ほり
- ④出前教室 ⑤青少年向けの表彰活動 ⑥子ども食堂 ⑦七夕祭り等
- ⑧東日本大震災語り部プロジェクト (小中学生に伝える活動)
- その他交流している国、雇っている外国人の国との連携等また、寄贈したらっ放しでは無く維持修繕までケアしましょう。
- 他のクラブの良い活動は真似をしましょう。

[災害時における支援活動の実例]

- ◎2019年、台風19号による被害
- ・覚書は災害に備えて事前に交わして置く方が良い。
- ・第6分区と地元市町との覚書の締結 (災害時における相合支援に関する覚書)
- ◎後方支援を行う
- ①災害発生時から初動で出来る ②被災地での物資支援 ③被災クラブになることもある RC→RCへ支援 ④災害廃棄物が多く出る 搬出には期限がある (3週間位)
- ◎職業・技術・経験を活かす支援の形
- ①職業の活用 ②大工技術者の協力 ③現役看護師の知識
- ※全国で災害を利用した悪徳業者が増えているので注意が必要
- ※被災地クラブは大変なので他地区のクラブの応援が必要

[藤本国際奉仕委員長]

- ◎活動方針として参加クラブの増加をお願いします。(奉仕活動の中で身近でないと感じられているようだ)
- ※国際奉仕を始めようと思うクラブは申し出てください。
- ◎TSUNAGU2790について国際奉仕委員会では今年度からTSUNAGU2790のプロジェクトを恒久的に遂行していきます。このTSUNAGU2790プロジェクトは、あるクラブが行う国際奉仕事業について、資金的に困難な時もう少し大きな事業を行いたいとき、しかし、ロータリー財団のグローバルグラントを使うほどの事業ではないときに、事業の提唱クラブとなりプレゼンテーションを行い賛同された他のクラブが、その事業に対し支持の意を込めて金銭を拠出頂くものです。(金銭の多寡は不問です)ひとつの国際奉仕事業プロジェクトを遂行するには、相応のエネルギーが必要です。このTSUNAGU2790プロジェクトの事業活動自体は、起案提唱したクラブが行うものですが、拠出したクラブもプロジェクトの節目に参加し、この事業活動の共同意識をお持ち頂きます。これにより、次は自らのクラブも積極的に国際奉仕事業を行おうとロータリアンが奮起して頂ければ、2790地区全体が活気づくものと考えます。